



JAPAN HERITAGE

日本遺産

# 三 国 湊

北前船の聖地

ガイドブック



MIKUNI - MINATO  
JAPAN HERITAGE / KITAMAE - BUNE



# 北前船が築いた 歴史と文化 情緒溢れる 三国湊



日本遺産  
認定



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～

文化庁が認定する「日本遺産」とは、日本の文化・伝統を語るストーリーについて、地域に残る有形・無形の文化財を総合的に活用する取り組みを応援するものです。

平成29年(2017年)4月に、函館市や秋田市、新潟市など11市町が申請した北前船の寄港地・船主集落でのストーリーが日本遺産として認定され、平成30年(2018年)5月には、江戸時代から明治時代にかけて北前船によって繁栄した「三国湊」にある19件の歴史文化が日本遺産の構成文化財として認定されました。



## 三国湊の歴史

三国湊は、九頭竜川の河口に位置し、竹田川、足羽川などの多くの河川が合流するため、古くから河川の舟運が盛んでした。また、日本海にも面していることから、嶺北地域の物資を河川で輸送し、それらを集積して他地域へ運ぶ物流の拠点として繁栄しました。

「三国湊」の初見は、歴史書『続日本紀』によると、宝亀9年(778年)に、送高麗使の乗船が坂井郡三国湊に到着したことが記載されています。

室町時代の『廻船式目』では、三国湊は「三津七湊」の一つに数えられていました。

江戸中期になると、大坂と北海道間を物資輸送し、これを売買して差益を得る「北前船交易」が始まり、三国でも廻船業に力を入れ始めました。

江戸後期には内田家などの豪商を中心に三国は日本海側有数の北前船の寄港地としてさらに繁栄し、その様子は、慶応元年(1865年)に描かれた「越前三国湊風景之図」にも見るすることができます。

構成  
文化財

越前三国湊風景之図 (坂井市龍翔博物館 蔵)



## 三国湊の繁栄

三国湊の往時の繁栄ぶりは、レトロな西洋建築「旧森田銀行本店」や三国港突堤など、今も残る建造物によってもうかがい知ることができます。

また、当時、約40軒の遊女屋や置屋が建ち並んだといわれる三国の花街は、井原西鶴が「北国にまれな色里」とたたえ、江戸時代末期の遊郭番付表では、品川と四ツ谷新宿の間に「三国」の地名が載っているなど、全国屈指のにぎわいであったことを示す資料が残っています。



番付表

## 三国湊の今

三国湊の繁栄は、明治期に鉄道が開通し、物流の中心が船から鉄道へ移りだすと、次第にその輝きを失っていきましました。北前船交易により行き交った人々やにぎわいは徐々に無くなり、三国の町はしばらくの間、時間が止まることになるのです。

しかし、最近になり、当時の面影を残すノスタルジックな町並みの価値が見直され、町並み保全や空き家のリノベーションによるお店の出店などを行い、往時のにぎわいを取り戻そうと動き出しました。来る人も住む人も笑顔あふれる町にしたい、それが今も残る三国人の心意気です。



三国が大好きな人たちに会えます

## 三国湊の町の成り立ち

丘陵地であった三國神社西側の中元区周辺から町が<sup>まつがした</sup>発展していき、江戸時代初期には、森町から松ケ下までが三国湊として成立していました。やがて北前船交易が始まると、川底への土砂の堆積などで、港が川下に移り、町も川下の方へ発展していきました。そこでは商人の屋敷跡や、船乗り達の憩いの場であった遊郭跡などが当時の風情を今に伝えています。その成り立ちは、森町から松ケ下の通りが自然地形に沿って曲がった道に対し、それ以降に発展した町の通りは、直線的な道などからもうかがい知れます。このようなポイントにも着目しながら、三国湊の歴史を感じる旅に出かけてみませんか。



松ケ下付近の風景

三国湊  
から  
全国へ

## 笏谷石（しゃくだにいし）

三国の中でも見られる笏谷石は、福井市の足羽山<sup>あすわやま</sup>で採掘され、河川の舟運で三国湊に運ばれた後、北前船で全国に運ばれたもので、全国各地に遺されています。加工しやすく、濡れると独特の青緑色を発するのが特徴です。三国の旧岸名家やお寺、神社などでも笏谷石と出会うことができます。



三国湊ノスタルジック散歩  
MIKUNI - MINATO NOSTALGIC WALK

# 豪商の面影が残る 三国湊きたまえ通りを散策

## マチノクラ

MAP 06

三国湊の海運と文学がテーマのミニ資料館。  
三国湊の散策は、館内の展示品やガイダンス  
ムービーをご覧ください、三国湊の概要を  
知るところから始めてはいかがでしょうか。  
往時を想いながら町歩きをお楽しみください。

- 時間 10:00～16:00
- 料金 150円/人(中学生以下は無料)  
※旧岸名家(100円/人)とのセット割引入場券をご利用  
いただくと50円引きの200円/人となります。
- 休み 水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始



構成  
文化財

## 旧岸名家

MAP 07

岸名家は、北前船交易において、材木商を営んでいた三国湊を代表する商家の一つ。その  
家が今でも残っており、建物内を見学することができます。「かぐら建て」と呼ばれる建  
築様式が特徴です。

※かぐら建てとは、切妻造妻入の主体  
部の前方に平入の表屋を付けた、独  
特な建て方のこと。

- 時間 9:00～17:00
- 料金 100円(マチノクラとのセット割引入場券あり)
- 休み 水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始



「トオリニワ」と呼ばれる笥谷石の廊下が  
家の中を貫いています。



## 旧森田銀行本店

MAP &gt; 09

森田家は三国湊を代表する豪商のひとつ。同家は明治の中頃まで廻船業を営んでいましたが、海運の衰退をいち早く察知し、金融業へと転換を図りました。銀行は大いに成長し、大正9年(1920年)、この建物が新しい本店として建てられました。

- 時間 9:00～17:00
- 料金 入場無料
- 休み 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始



## 三国湊町家館

MAP &gt; 08

きたまえ通りにある休憩所。観光情報の収集ができ、5月に行われる北陸を代表する祭り「三国祭」の山車巡行の様子や秋に行われる「三國湊帯のまち流し」などをビデオで見ることができます。

- 時間 9:00～17:00
- 休み 水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
- レンタサイクル 2時間/300円～



## アーバンデザインセンター坂井

MAP &gt; 10

平成30年(2018年)4月に築約130年の古民家を改修しオープン。地域のまちづくりを推進する活動拠点になっています。施設内は気軽に立ち寄っていただくことができます。

- 時間 9:00～17:00
- 休み 木曜日、年末年始



## 三国節

北前船の船頭の船唄として発祥したとも言われる三国の座敷歌。



## いざき

北前船船頭・水主の祝い唄で、起舟の船祝いの席で唄われた。



## なんぼや踊り唄

北前船の船乗りによって、東北の南部地方から伝わった歌。



## 三国仏壇

三国湊の工芸品で、北前船により船主集落の加賀橋立などに運ばれた。



## 三国箆笥

江戸時代から明治時代にかけて、三国で作られ、北前船の航海時に使用された必需品。





三国湊ノスタルジック散歩  
MIKUNI - MINATO NOSTALGIC WALK

# 花街三国を偲び 歴史を学ぶ旅



構成  
文化財

## 魚志楼

MAP 03

三国の「出村」といわれる辺りは、昔花街があったところで、昔の豪商など有力商人たちが毎夜お座敷遊びをしていたといわれています。魚志楼は、芸妓たちの置屋として使っていた建物で、現在は、料亭として営業しています。



構成  
文化財

## 日和山

MAP 04

ひよりやま  
日和山という地名は各地にあり、港近くにある高台で船の行き来や天気を眺めていた場所です。その日和山に建つ金鳳寺では、豪商などの有力商人たちが俳諧を楽しむため吟社(俳句を楽しむ団体)をつくり、御堂などから船の往来や風景を眺めながら句会を催していました。

## 瀧谷寺

MAP 02

えいげんしょうにん  
永和元年(1375年)に睿憲上人によって開創された寺院です。本堂・観音堂・山門等の建造物は重要文化財に指定されています。宝物殿には国宝や重要文化財(5月・10月のみ展示)が多くあり、参道のヤブ椿や境内の名勝庭園は落ち着いた風情を漂わせています。

- 時間 8:00~17:00  
(11月~2月は16:30まで)
- 料金 大人500円、中高生300円、  
小人200円
- 休み 無休



構成  
文化財





## 坂井市龍翔博物館

MAP 05

明治12年(1879年)に建てられた五層八角の龍翔小学校の外観を模して造られた博物館です。館内では、三国湊の歴史や暮らしなどを資料や模型を使って詳しく紹介しています。

令和5年(2023年)6月リニューアルオープン

- 時間 9:00～17:00
- 料金 大人 400 円(高校生以下無料)
- 休み 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

北前船絵馬群



北前船古文書群



笏谷石関連古文書群



三国浦絵図



坂井市龍翔博物館に  
展示・収蔵されている  
構成文化財

構成  
文化財

三国湊では、明治維新後、北前船主ら豪商の財力により、いち早く西洋の文化が取り入れられ三国湊の発展に大きな影響を与えました。その象徴が、オランダ人技師のG.A.エッシャー(エッセル)が携わった「三国港突堤」です。

## 三国港突堤

MAP 01

三国港は、北前船交易で栄えていた当時、福井一の大河・九頭竜川から流入する土砂の堆積で港内の水深が浅くなる問題に悩まされていました。明治期に入り、三国の豪商たちは、港内の土砂堆積を防ぐため、オランダ人技師のG.A.エッシャー(エッセル)やヨハネス・デ・レーケの協力のもと突堤工事に取りかかりました。

いち早く西洋の土木技術を取り入れたこの突堤は、<sup>のびる</sup>野蒜港(宮城県)、<sup>みすみ</sup>三角港(熊本県)と並び、明治三大築港の一つであり、国の重要文化財に指定され、今もその役割を担い続けています。



構成  
文化財

## 東尋坊三国温泉

三国地区にはたくさんの民宿・旅館・ホテルなどの宿泊施設があり、そのほとんどには天然の三国温泉が引き湯されています。三国温泉は「ほかほか・しっとりの美人の湯」といわれ、肌にしっとりと水分を補給する作用があり、湯上りに肌が乾燥しにくく、温まった体が持続するので、温め美容や冷え対策にもお勧めです。



### 東尋坊三国温泉ゆあぽ〜と

三国港突堤の近くにある、気軽に三国温泉を楽しめる日帰り温泉施設です。自然光をふんだんに取り入れたパノラマサイズの展望風呂は開放感たっぷり。日本海に沈む夕陽や三国サンセットビーチ、大海にそそぐ九頭竜川を一望できます。

- 時間 10:00～23:00
- 料金 大人(中学生以上)500円  
小人(3歳以上)200円
- 休み 第3水曜日

## ちょっと足を延ばして



構成  
文化財

### 大湊神社

東尋坊の沖合に浮かぶ、周囲2kmの小さな島・雄島。朱色の橋を渡り、78段の石段を上がると、その奥には大湊神社が静かにたたずんでいます。雄島は神宿る島として北前船舶主から崇敬され、古来より船乗りの信仰が篤い神社です。

構成  
文化財

### 三国神社

MAP 11

おゆまきくいのみこと けいたい  
大山咋命と継体天皇を祀る神社で、県指定文化財の太刀と立願文、実物大の木造彩色の神馬が安置されています。

入口に大きくたたずむ隨身門ずいしんもんは、三国湊の有力な北前船舶主であった町衆が寄進したもので、日本遺産の構成文化財に認定されています。

構成  
文化財



### 新保春日神社

新保村は九頭竜川河口の左岸に位置し、対岸の三国湊と並んで河口港として古くから栄えていました。神社境内には江戸時代建立の本殿や、江戸時代には珍しい瀬戸内地方から運ばれた花こう岩製の石祠、鳥居などが遺されており、日本遺産の構成文化財に認定されています。



### 東尋坊

海岸線に1kmにわたって連なる巨大な柱状節理は世界的にも珍しく、「世界三大絶勝」と呼ばれ、国の名勝・天然記念物にも指定されています。断崖絶壁から海を見下ろすだけでなく、遊覧船に乗って海から眺めるのもおすすめです。

# 味わう 三国湊絶品グルメ



## 酒まんじゅう

北前船の船乗り達から製法を学び、今に伝えられている伝統の和菓子です。お店によって焼き印が違うのも特徴です。

## 越前おろしそば

福井県の名物グルメ。三国では、大根おろしの汁とダシを合わせたものをそばにかける食べ方が主流で、「辛み蕎麦」と呼ばれています。



## 味付けたら

北前船交易で北海道から原料となるタラが入り、独自に加工した商品です。強めの塩味でご飯に合います。

## うぐいすもち 鶯餅

創業は約300年前の享保4年(1719年)。北前船により持ち込まれた砂糖に糯米、小豆、大豆等を加えて生み出され、改良を加えながら今に続く、三国で最も歴史のある和菓子です。



## 越前がに

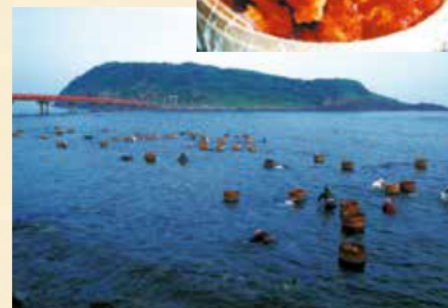
福井県で水揚げされるズワイガニのことで、黄色いタグが目印です。特に、三国で水揚げされた越前がには、毎年皇室にも献上されることでも有名です。



## 海産物

日本海の沖で獲れる魚のほか、海女さんが素潜りして獲る、ウニ・ワカメ・サザエや、底引き網漁で獲れる甘えびなど、三国は海産物の宝庫です。三国では、ウニは「塩雲丹」、ワカメは「もみわかめ」にして食べます。

また、幕末の志士達が瀧谷寺の山門を出た所で、ウニをつまみに酒を酌み交わしたという逸話があります。



『美食都市アワード 2025』を受賞！

「美食都市アワード」は、日本初的美食をテーマにした表彰制度です。地域文化と食の魅力を生かして価値を高めている都市・エリアに贈られます。令和7年(2025年)には、坂井市を含む5都市・エリアが認定されました。



観光ボランティアガイド



ボランティアガイド  
きたまえ三国

三国湊の歴史・文化などの話を交えながら案内してくれます。(要予約)

- 料金 1,500円(1団体)
- 電話 0776-82-0947

記号について

トイレ

駐車場

観光案内

100m

至 東尋坊・雄島

西徳寺

至 出世山古墳公園

至 運動公園

白山神社

米ヶ脇西光寺

宿春日神社

美保神社

敬勝寺

円蔵寺

三国サンセットビーチ

東尋坊三国温泉ゆあぽ〜と

三国港突堤

三国港駅

眼鏡橋

三国港市場

毎週日曜日に朝市を開催。  
(4月〜10月)

永正寺

九頭竜川

散策移動時間目安(徒歩)





# 三国湊を彩る イベント



## 雄島祭

毎年、4/20に行われる、大湊神社の祭事で、海の安全や豊漁を願います。船神輿と乙女神輿による東尋坊での逢瀬や、船神輿が海に入るシーンが見ものです。



## 三国祭

毎年、5/19～21に行われる、三國神社の例大祭。北陸三大祭の一つに数えられ、祭り中日の20日には、高さ6mにも及ぶ巨大な武者人形山車が町内を練り歩き、町中が祭り一色になります。



## 三国花火

毎年8月11日、三国サンセットビーチを舞台に、最大2尺玉の打ち上げ花火や投げ込み式水中花火、音楽スターマインなどの花火が真夏の夜空を美しく染めます。



## 三國湊帯のまち流し

初秋の夕暮れ、帯の幅ほどとよばれる細長い三国の町並みの中を、三国節の三味線や笛の音色に合わせて、踊り手たちが踊り流します。三国湊に秋の到来を告げる風物詩です。



## 三国湊かに祭り

毎年、11月中旬頃に行われる、三国港で水揚げされた新鮮な越前がにや地元特産品の味を紹介・販売するイベントで、大勢の買い物客で賑わいます。

## 【三国湊へのアクセス】

東京からお越しの方

- 〔鉄 道〕 北陸新幹線で芦原温泉駅下車後、バス・タクシー利用
- 〔飛行機〕 羽田空港から小松空港で連絡バス乗り換え、小松駅から芦原温泉駅下車後、バス・タクシー利用
- 〔お 車〕 東名、名神高速、米原 JCT で北陸自動車道、丸岡 IC 下車、三国方面へ

名古屋からお越しの方

- 〔鉄 道〕 特急で敦賀駅乗り換え、北陸新幹線で福井駅下車後、えちぜん鉄道で三国方面へ
- 〔お 車〕 名神高速、米原 JCT で北陸自動車道、丸岡 IC 下車、三国方面へ

約 2 時間 30 分  
約 3 時間 20 分

大阪からお越しの方

- 〔鉄 道〕 特急で敦賀駅乗り換え、北陸新幹線で福井駅下車後、えちぜん鉄道で三国方面へ
- 〔お 車〕 名神高速、米原 JCT で北陸自動車道、丸岡 IC 下車、三国方面へ

約 2 時間 30 分  
約 4 時間 00 分



## 【お問合せ先】

三国駅観光案内所  
TEL : 0776-43-0753

## 【発行元】

一般社団法人 DMO さかい観光局  
〒919-0511  
福井県坂井市坂井町長畑 7-6-5  
TEL : 0776-50-3200  
Mail : info@dmo-sakai.com

このガイドブックに掲載されている情報は、令和 7 年 (2025 年) 3 月現在のものです。